

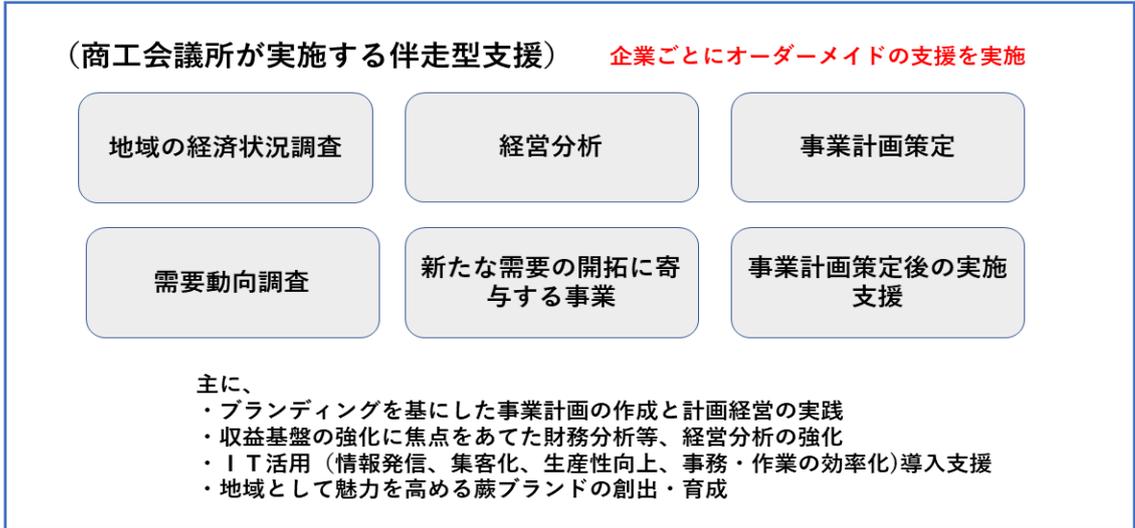
(4) 経営体質の強化事業

1. 経営体質の強化事業

実施主体：蕨市・蕨商工会議所

実施時期：令和4年4月～

実施内容：ハード事業やソフト事業の新たな事業展開を仕掛けるほかに、まちづくりを考えるうえで、既存の商店（企業）の体力を強化させることが重要である。一番の方策としては、既存店舗が持続可能な経営を行っていくことである。そして、既存店舗が繁盛店に生まれ変わることで、当該エリアのブランド力や魅力は高まる。そのため、下記のように、本事業の推進にあたり、徹底した企業支援を持続的に展開していく。



○小規模事業者の現状と支援の考え方

本市は、小規模事業者の減少幅が大きくなっている状況にあり、小規模事業者の減少をくい止めるためには、個々の企業の経営力の向上を図ることが必要である。そのため、本市では最上位計画である「コンパクトシティ 未来ビジョン」（平成26年度～令和5年度）において「新しい事業活動の創出」や「事業者の経営安定」を推進しているとともに、蕨商工会議所と連携し、小規模事業者の支援を行っている。本プランにおいても、ハード・ソフト事業のまちづくり活動だけでなく、既存の企業の経営体質の強化を図ることを両輪として、強力に推進していく。小規模事業者支援を推進するにあたっては、個々の企業の強みを磨きあげることが必要となる。小規模事業者の最大の強みはチェーン店等にみられる画一的な商品、製品、サービスではなく、オリジナル商品やその店舗、経営者などが持つ個性であり、そのオンリーワンの強みをブランディングすることで、経営の軸を持つことができ小規模事業者は強くなると考える。小規模事業者支援のあり方として次のテーマを掲げ、個々の企業の経営力の向上に努めていく。

1. ブランディングを基にした事業計画の作成と計画経営の実践
2. 収益基盤の強化に焦点をあてた財務分析等経営分析の強化
3. IT活用（情報発信、集客化、生産性向上、事務作業の効率化）導入支援

○目標の達成に向けた方針

目標達成のために、①～③の項目ごとに次のように方針を立て、本プランを推進する。

- ①小規模事業者の持続可能な経営を図るうえで計画的な経営の効果は非常に大きいことから、事業計画の策定を最優先課題の事業として推進する。推進するにあたっては他社との差別化、付加価値の向上を図るためブランディングをテーマに計画策定を行い、個店の強みの最大化を図って推進していく。
- ②小規模事業者が持続可能な経営を図るうえで、売上の増加や営業利益率の改善は大きな指標となってくるため、売上等の成果にフォーカスして取り組む。また、計画的な経営の実効性を検証し、今後の小規模事業者支援の在り方や個店の計画的な経営への取り組みを促進させていく。
- ③今後を見据えた中では、小規模事業者においても、IT化への取り組みは必須であり、HPやSNSの導入はもちろん、財務管理や顧客管理、POS（販売時点情報管理）等の様々な分野でIT化することによって労働生産性の向上を図っていくことがカギとなる。そのために、小規模事業者にありがちなIT化への拒絶反応を取り払うことができるよう、各個店に合わせた支援を実施する。

○支援の進め方については、別紙のとおり。